

## 第9回 FUNAI ジュニア検定問題

【 時 間 】 10 : 10 ~ 10 : 55

【 問 題 数 】 50問 (全9ページ)

### 《 注 意 》

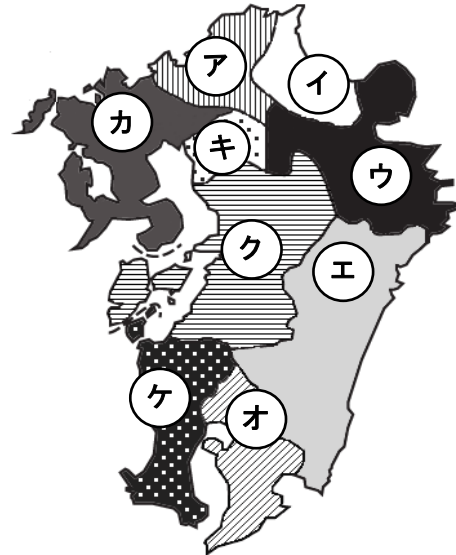
- 検定開始の合図があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。
- 机の上には、鉛筆（シャープペンシル）、消しゴム、受検票、ハンカチ、ティッシュ以外の物を置いてはいけません。
- 検定中は、受検票を受検番号の下に置いてください。
- 問題の答えは、解答用紙に記入してください。
- 解答用紙には、受検番号と氏名を記入してください。
- 検定の途中で、具合が悪くなるなど、困ったときは手をあげてください。
- 検定の途中で退席することはできません。
- 検定終了の合図があったら、解答用紙を裏にして、机の上に置いてください。
- 問題用紙は持ち帰ってもよいです。

【1】<sup>した ねんびょう</sup>下の年表について、<sup>と こた</sup>(1)～(4)の問いに答えなさい。

| に ほん し<br>日 本 史                                                                 | おおともし<br>大友氏について (府内の出来事)                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                 | ( ① ) 年 <sup>よしあき ちょうなん</sup> 義鑑の長男として <sup>しおほうしまる そうりん たんじょう</sup> 塩法師丸(宗麟)誕生                                                                     |
|                                                                                 | 塩法師丸、 <sup>あしかがしょうぐん なまえ</sup> 足利将軍から名前をもらう                                                                                                         |
| 1543年 <sup>ねん たねがしま てっぽう つた</sup> 種子島に鉄砲が伝わる                                    |                                                                                                                                                     |
| 1549年 <sup>にほん き</sup> ザビエルが日本に来て、<br><sup>きょう つた</sup> キリスト教を伝える               | 1550年 「( ② ) の変」で父 <sup>ちちよしあき うしな あと つぐ</sup> 義鑑を失い、後継ぐ                                                                                            |
|                                                                                 | 1551年 <sup>せんきょうし</sup> 宣教師のザビエルを <sup>ふない</sup> 府内にまねく                                                                                             |
|                                                                                 | 1559年 <u><sup>ほくぶ きゅうしゅう いく しゅご</sup>北部九州6国の守護</u> となる・・・・・・ ㉞                                                                                      |
| 1560年 <sup>のぶなが おけはざま たたか</sup> 信長、「桶狭間の戦い」<br>で <sup>いまがわよしもと やぶ</sup> 今川義元を破る |                                                                                                                                                     |
| 1573年 <sup>のぶなが むろまちぼくふ</sup> 信長、室町幕府を<br><sup>ほろ</sup> 滅ぼす                     |                                                                                                                                                     |
| 1575年 <sup>のぶなが ながしの たたか</sup> 信長、「長篠の戦い」で<br><sup>ただぐん やぶ</sup> 武田軍を破る         | 1578年 <sup>そうりん きょう はい</sup> 宗麟、キリスト教に入る<br><sup>おおともぐん ひゅうがのくに たかじょう みみかわ たたか</sup> 大友軍、日向国「高城・耳川の戦い」で <sup>しまづ</sup> 島津<br><sup>ぐん やぶ</sup> 軍に敗れる |
| 1582年 <sup>のぶなが ほんのうじ へん じがい</sup> 信長「本能寺の変」で自害<br>する                           | ( ③ ) 年 <sup>いとう</sup> 伊東マンショら <sup>にん しょうねん てんしょうけん</sup> 4人の少年が天正遣<br><sup>おうしょうねんしせつ</sup> 欧少年使節としてヨーロッパへ <sup>む</sup> 向かう                       |
|                                                                                 | 1586年 <sup>そうりん じょう ひでよし ほうもん</sup> 宗麟、( ④ ) 城の秀吉を訪問する<br><sup>せん のりきゅう でむか</sup> 千利休が出迎える・・・・・・ ㉟                                                  |
|                                                                                 | <u><sup>しまづぐん ぶんご しんにゅう</sup>島津軍豊後へ侵入</u> 、「( ⑤ ) 川」 <sup>たたか</sup> の戦い」<br>・・・・・・ ㊱                                                                |
|                                                                                 | 1587年 <sup>そうりん しきよ つくみ</sup> 宗麟 死去 (津久見)                                                                                                           |
| 1590年 <sup>ひでよし てんか とういつ</sup> 秀吉、天下を統一する                                       |                                                                                                                                                     |

(1) 年表中の①～⑤にあてはまる言葉や数字を書きなさい。

(2) 下線㉗の北部九州6国を下の地図中からすべて選び、記号で答えなさい。



(3) 下線㉘の人物の千利休は、わび茶を完成させた人物として有名です。宗麟もお茶の道では「数奇者」と言われていました。宗麟が持っていたことのある「名物」、つまり特に価値の高い茶器は次のうちどれですか。2つ選んで記号で書きなさい。

- ア 新田肩衝 (にったかたつき)
- イ 瓢箪茶入 (ひょうたんちゃいれ)
- ウ 初花肩衝 (はつはなかたつき)
- エ 九十九髪茄子 (つくもかみなす)

(4) 下線㉙の戦いで援軍としてやってきたのは次のうちのどの軍ですか。記号で答えなさい。

- ア 毛利輝元の軍
- イ 大内義長の軍
- ウ 長宗我部元親の軍
- エ 豊臣秀長の軍

【2】 <sup>いま</sup>今からおよそ450年前の<sup>ねんまえ</sup>豊後国（<sup>ぶんごのくに</sup>大分県）は、<sup>おおいたけん</sup>戦国大名の<sup>せんごくだいみょう</sup>大友宗麟が<sup>おおともそうりん</sup>治めていました。<sup>おおともし</sup>大友宗麟と<sup>と</sup>大友氏について、（1）～（5）の問いに答えなさい。

- （1） <sup>つぎ</sup>次の①～④の説明は、<sup>せつめい</sup>大友氏の<sup>おおともし</sup>当主が<sup>とうしゅ</sup>行<sup>おこな</sup>ったとされている出来事です。<sup>できごと</sup>説明にあてはまる<sup>せつめい</sup>大友氏の<sup>おおともし</sup>当主の名前を、<sup>おおともし</sup>下から1つずつ<sup>とうしゅ</sup>選<sup>なまえ</sup>び、<sup>した</sup>それぞれ<sup>えら</sup>記号で<sup>きごう</sup>書<sup>か</sup>きなさい。同じ記号を  
何度使ってもかまいません。

- ① <sup>げん</sup>元（<sup>ちゅうごく</sup>中国）との<sup>たたか</sup>戦いで、<sup>きゅうしゅう</sup>九州の<sup>ごけにん</sup>御家人を<sup>ひき</sup>率<sup>たたか</sup>いて戦った
- ② <sup>おおともし</sup>大友氏ゆかりの<sup>しなじな</sup>品々が<sup>おさ</sup>納められる<sup>ささむたじんじや</sup>西寒田神社を、<sup>げんざい</sup>現在の<sup>そうだちく</sup>寒田地区に<sup>いてん</sup>移転した
- ③ <sup>げんざい</sup>現在の<sup>おおいとしけんとかち</sup>大分市<sup>おおともやかた</sup>頭徳町に、<sup>た</sup>大友館を<sup>えら</sup>建てはじめた
- ④ <sup>おおともし</sup>大友氏の<sup>ぎしき</sup>儀式や<sup>ぎょうじ</sup>行事について<sup>にっき</sup>まとめた<sup>か</sup>日記を書いた

|                                           |                            |                            |
|-------------------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| （あ） <sup>しょだい</sup> 初代 <sup>よしなお</sup> 能直 | （い） 3代 <sup>よりやす</sup> 頼泰  | （う） 5代 <sup>さだちか</sup> 貞親  |
| （え） 10代 <sup>ちかよ</sup> 親世                 | （お） 19代 <sup>よしなが</sup> 義長 | （か） 22代 <sup>よしむね</sup> 義統 |

- （2） <sup>おおともそうりん</sup>大友宗麟の「<sup>そうりん</sup>宗麟」という名前は、<sup>なまえ</sup>彼が<sup>かれ</sup>出家（<sup>しゅつけ</sup>仏の<sup>ほとけ</sup>道に<sup>みち</sup>入ること）した<sup>はい</sup>時の<sup>とき</sup>名前です。  
では、<sup>なまえ</sup>彼が12歳の時に<sup>さい</sup>足利<sup>あしかが</sup>将軍から<sup>いちじ</sup>一字を<sup>つ</sup>もらって<sup>なまえ</sup>付けられた<sup>か</sup>名前を書きなさい。

- （3） <sup>おおともそうりん</sup>大友宗麟より<sup>としした</sup>年下の<sup>せんごくだいみょう</sup>戦国大名を<sup>した</sup>下から2人<sup>えら</sup>選<sup>きごう</sup>び、<sup>か</sup>記号で書きなさい。

ア <sup>ただしんげん</sup>武田信玄      イ <sup>おだのぶなが</sup>織田信長      ウ <sup>しまづよしひろ</sup>島津義弘      エ <sup>もうりもとより</sup>毛利元就

- （4） <sup>おおともそうりん</sup>大友宗麟は、<sup>にほん</sup>日本で<sup>はじ</sup>初めて<sup>たいほう</sup>大砲を<sup>て</sup>手に<sup>い</sup>入れた<sup>せんごくだいみょう</sup>戦国大名です。この<sup>たいほう</sup>大砲について、①～②の<sup>と</sup>問いに<sup>こた</sup>答えなさい。

- ① <sup>とうじ</sup>当時、この<sup>たいほう</sup>大砲（<sup>した</sup>下の<sup>しゃしん</sup>写真）は、<sup>いりよく</sup>威力の<sup>おお</sup>大きさから、<sup>なん</sup>何と<sup>な</sup>名づけられましたか。<sup>つぎ</sup>次の  
ア～エから1つ<sup>えら</sup>選<sup>きごう</sup>び、<sup>か</sup>記号を書きなさい。



ア <sup>やまくずし</sup>山崩      イ <sup>くにくずし</sup>国崩      ウ <sup>しろくずし</sup>城崩      エ <sup>ふねくずし</sup>船崩

- ② 宗麟は、家臣を中国に送って大砲の作り方を学ばせ、府内で製造させました。この家臣は、宗麟に仕えた後、徳川家康の家臣としても活躍しました。この家臣は誰ですか。苗字と名前のすべてを書きなさい。

(苗字と名前とは、例えば大友宗麟であれば、「大友」が苗字、「宗麟」が名前です。)

- (5) 4年間豊後に住んだ宣教師ルイス・フロイスは、宗麟のことをどう評価しましたか。正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

ア 日本の戦国大名の中で、最も考えが深く、人徳があり、あらゆる才能に優れている

イ 身分が高い人であるのに物事を正しく判断する能力がなく、弱々しく臆病である

ウ ヨーロッパの国王と同じくらい名誉心があり、大胆不敵な態度である

エ 日本のあらゆる王のうち、もっとも偉大な王であり、決断力や忍耐力がある

- 【3】戦国時代の太田市は、「府内のまち」と呼ばれる地域を中心発展しました。「府内のまち」周辺は、発掘調査によって当時の様子が明らかになってきています。「府内のまち」について、(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 下の写真は、発掘調査によって見つかったものです。①～③は何ですか。それぞれの名前を下から選び、記号で書きなさい。

①



②



③



ア うし とうこつ  
牛の頭骨

イ まぐろのほね  
骨

ウ てつぽう たま  
鉄砲の弾

エ こま

オ ふんどう  
分銅

カ しょうぎ  
将棋のこま

キ はごいた  
羽子板

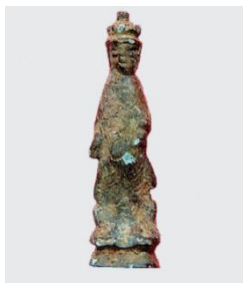
ク ぎっちょうのたま  
玉

- (2) 府内のまちの発掘調査では、当時の人々の「いのり」に関係した道具が多く見つかっています。  
いのりの道具として正しくないものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

ア



イ



ウ



エ



- (3) 右は「府内古図」と呼ばれる、戦国時代の府内のまちの様子をえがいた絵図です。この絵図にえがかれ、現在も同じ位置に残っているお寺を、次のア～エから1つ選び、記号で書きなさい。



ア 本光寺

イ 万寿寺

ウ 大智寺

エ 光西寺

- 【4】下の地図は、宣教師フランシスコ・ザビエルの主な布教路を表しています。ザビエルについて、(1)～(3)の問いに答えなさい。



- (1) ザビエルは、どこの国の生まれの人ですか。現在の国名を答えなさい。

(2) ザビエルが初めて上陸した日本の地はどこですか。地名と地図中の記号を書きなさい。

(3) 下の文の①、②にあてはまる地名と地図中の記号を書きなさい。

21歳になった宗麟は、豊後の国づくりのためにもっと世界の情報を手に入れようと、当時（①）にいたザビエルを（②）に招きました。宗麟はザビエルを歓迎し、（②）でキリスト教を広めることを許可しました。ザビエルは、2か月間（②）で布教し、インドに旅立つことになりました。

【5】南蛮貿易について、次の（1）～（4）の問いに答えなさい。

(1) 当時、マカオなどを拠点にアジアの海で貿易に深くかかわっていたヨーロッパの国名を書きなさい。

(2) 宗麟のもとに日本で初めて伝えられた「かぼちゃ」の語源となった、右の地図中（ア）の現在の国名を書きなさい。



(3) 戦国時代、「府内のまち」の海の玄関口として多くの貿易船が入港していた港は、当時何と呼ばれていましたか。港の名前を書きなさい。

(4) 次のうち、南蛮貿易で豊後国からたくさん輸出された火薬の原料を選び、記号で書きなさい。

ア 水素      イ 石炭      ウ 硫黄      エ 硝石      オ 石油

【6】 府内のまちの宣教師の活動について、次の（１）～（５）の問いに答えなさい。

（１） 次の文の①～④にあてはまる言葉を、下の（あ）～（こ）から選び、記号で答えなさい。

宗麟は、ザビエルのはからいで府内にきた宣教師に（ ① ）を与えました。彼らは宗麟の援助のもと、そこに（ ② ）や病院をたて、積極的に布教しました。後に、宣教師を育てるための学校である「府内（ ③ ）」もつくり、外国語や理科、音楽などの授業を行いました。宗麟が（ ④ ）を保護したことで、府内のまちでは信者になる人が少しずつ増えていきました。そして、宗麟も４８歳の時、信者となりました。

（あ） 仏教      （い） キリスト教      （う） お金      （え） 土地      （お） セミナリオ  
（か） 城      （き） パウロ      （く） フランシスコ      （け） コレジオ      （こ） 教会

（２） 戦国時代の日本では、貧しく生活に苦しむ人々の中には、生まれたばかりの赤ん坊を手放す人がいました。このことに心を痛め、子どもたちを救うため、自分のお金を使って「育児院」を建てた宣教師はだれですか。人物名を書きなさい。

（３） 育児院は、やがて宗麟の援助を受けて西洋式の日本初の病院「府内病院」となります。府内病院の活動は、たくさんの人々のボランティアによって支えられました。このボランティア組織は何と呼ばれていましたか。下の（あ）～（え）から１つ選び、記号で答えなさい。

（あ） ティセラ      （い） ザビリエーナ  
（う） エssenシア      （え） ミゼリコルディア



- (4) 次の写真は、大分市「遊歩公園」の記念碑や記念像です。それぞれが表しているものを下の(あ)～(え)から選び、記号で答えなさい。

①



②



③



- (あ) 育児院と牛乳の記念碑  
(う) 西洋医術発祥記念像

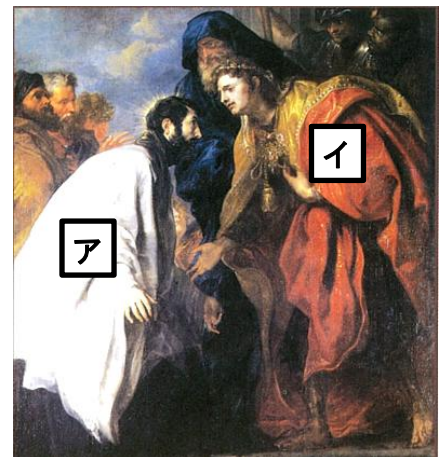
- (い) 西洋音楽発祥記念碑  
(え) 西洋演劇発祥記念碑

- (5) 右の写真は、ドイツのあるお城にある宗麟とフランシスコ・ザビエルの出会いをイメージした絵画です。この絵画について、①～③の問いに答えなさい。

- ① 宗麟はア・イの人物のうちのどちらですか。1つ選んで記号を書きなさい。

- ② この絵画を飾っているお城の名前を答えなさい。

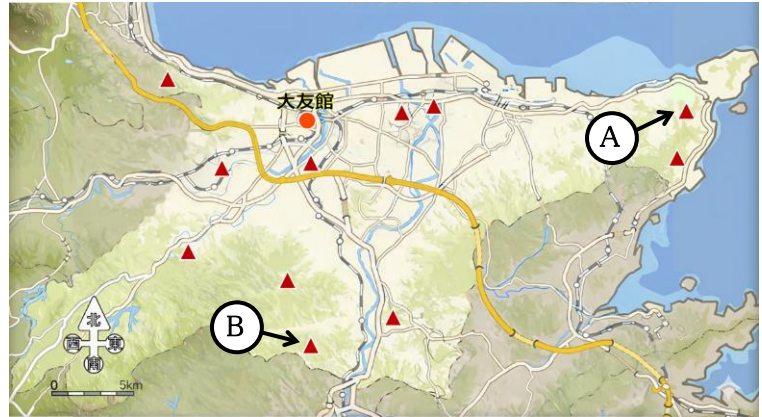
- ③ この絵画の作者は誰ですか。人物名を書きなさい。



- 【7】大友氏と島津氏の争いについて、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 1586年、勢いに乗った島津軍は、大友氏が支配していた領地に進出を始めました。この前年、大友・島津両軍は、天下統一を進めていたある人物から停戦を命じられていました。この人物は、百姓への支配を固めるために全国で検地や刀狩をおこなったことで知られています。この人物は誰ですか。苗字と名前のすべてを書きなさい。

- (2) 宗麟の時代には、大分市内に  
いくつも山城がありました。右  
の地図中 ① ② の城や砦の  
名前を、下の(あ)～(か)から選  
び、記号で書きなさい。



- |         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| (あ) 鷲ヶ城 | (い) 守岡砦 | (う) 烏帽子岳城 |
| (え) 摺木砦 | (お) 鶴賀城 | (か) 天面山城  |

- (3) 大友宗麟とは関係のない城・館は次のうちどれですか。1つ選んで記号で答えなさい。

- ア 丹生島城      イ 高崎城      ウ 府内城      エ 上原館

- (4) 下の写真は、大分市鶴崎地区にある、島津軍との戦いで活躍した女性の像です。この人物の名を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



- ア 立花 闇千代  
イ 井伊 直虎  
ウ 吉岡 妙林尼  
エ ルイサ